

京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程入学試験問題例

1次試験 専門科目

(6. 法学・政治学)

(注意) 解答は、設問(ローマ数字のⅠ、Ⅱ、Ⅲ…)ごとに別の解答用紙を用いること。

Ⅰ～Ⅴのうち2問を選び、解答しなさい。

Ⅰ 表現行為に対する規制の違憲審査にあたり、表現内容規制には厳格な違憲審査基準が、表現内容中立規制には中間的な違憲審査基準が妥当するという二分論について、論評しなさい。

Ⅱ 労働関係における人格権の侵害の例を挙げ、その救済についても説明を加えなさい。

Ⅲ 「公私協働」という概念について実例を挙げて説明し、現代日本社会におけるその必要性和危険性について論じなさい。

Ⅳ 戦後、自民党政権が長期間続いた理由としてどのようなものが考えられるか述べよ。

Ⅴ 多民族国家において民主主義は安定するか、論評せよ。